



明けましておめでとうございます。調布市剣道連盟会長宮田です。

今年も昨年同様、西調布体育館での元朝稽古から1年が始まりました。昨年は連日100人ほどの剣友が集い、充実した稽古会となりました。今年も更に素晴らしい稽古会になる事を期待しております。

昨年は、一昨年以前のようにコロナを意識することなく、最後の開催となりました**第35回剣道百面立切誓願試合、調布市剣道大会、剣道研修会、市民体育祭、各昇級、昇段審査会、少年部合同強化稽古等、年間計画に沿ってすべての行事を滞りなく実施することができました。**各行事へご協力頂きました会員の皆様に改めて御礼を申し上げます。大きなトピックとしては、**調布市剣道大会の大将へ六七段の出場を可能とし、市民体育祭六七段の部を新設**するという内部大会の改革が行われ、大いに盛り上がる大会となったことが挙げられます。また、外部大会関係でも、久しぶりに**市町村大会の一般の部で三位入賞、西東京剣道大会にシニアの部が新設**され、入賞は逃したものの、**中堅の林選手が引き分け、大将の鱒澤選手で勝利**するという感動的な試合が見られました。剣連には多くのシニア剣士も在籍しておりますので、今年**積極的に参加頂き、優勝を目指したい**ところです。昇段関係では、昨年の挨拶で「これまで調布剣連で実現できていない、八段合格、女性七段合格の朗報が聞かれる事を期待したい」と書きましたが、11月の審査会で**染地の林先生が見事に七段合格**という結果を出していただきました。今年こそは八段合格の実現を期待いたします。

さて、今年**は巳年**です。十干（じっかん）と干支の組み合わせでは「**乙巳（きのとみ）**」となります。「乙」は十干の2番目で、「植物が成長し広がっていく様」を表します。十二支の6番目にあたる「巳」は、「巳は成長することが止む「巳」であり、成長することが極限にまで達した状態」という意味になるそうです。また、巳（蛇）は脱皮しながら成長することから、復活・再生の象徴とされ、神秘的な力を持つので神の使いといわれています。それらのことから、「乙巳」の今年は、「**これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増していく**」という年になりそうです。ということで、調布市剣道連盟も、これまでの殻を破り、新たに発展していく一年になる事を願っています。

末筆ではございますが、会員の皆様とご家族の、今年1年のご健勝とご多幸を祈念すると共に、皆様の剣道がより充実されることを期待いたします。

本年もよろしくお願ひ致します。